



微笑みの国の苦悩

丸紅株式会社
執行役員中部支社長 酒井 宗二

微笑みの国、タイ。中部圏の企業も多数進出され又、観光やゴルフでもお馴染みの国ですから身近に感じられている方も多いでしょう。

当地の企業幹部の方々とよくタイの話になり、「タイはいいよねえ」となりますが、これは根っこには日本ファンが多く、タイ流の「おもてなし」が特別に日本人に対してあるからだと感じています。知り合いで日本に50回以上観光に訪れた方もいます。

私はバンコクに3年駐在して、昨年4月に名古屋に赴任しました。日タイ友好のシンボルでもある日泰寺もあり、これも何かの縁かなと思います。丸紅は1954年にバンコク支店を開き、因みにタイの電力はその約30%を当社が納めた発電所から発電されています。

2017年に1700社を抱える日本人商工会の会頭に選任頂き、閣僚や財閥幹部に多数面談しました。日本は長年に亘る最大投資国の一つであり、親日家も多く、商工会の陳情もすぐに副首相級まで上げてくれて対処して頂きました。又、日本酒好きが多く、会議後はよく酒も酌み交わしました。

最近では、労務コストや地理的観点からベトナムに投資をする企業が増加してきた所に新型コロナの蔓延、そして最近タブーであった王室批判も噴出。「中進国の罠」からの脱出を図るタイ政府の苦悩も深まるばかりです。しかしタイはトムヤムクンクライシス（アジア通貨危機）、クーデター、洪水等々の国難を繰返してきている軍事政権ではありますが、何事があっても政権運営は安定しており、今後とも日系企業による投資対象国の一つであることは間違いありません。

私自身はタイでの恩を少しでも返すべく、中部圏企業とタイの橋渡し役を中経連の活動も通じて、ここ名古屋で出来ればと思っています。（中々、コロナで出来なくて歯がゆいのですが）

最近では日本からタイにワクチンを供与したり、セントレア空港の定期便が復活したり、徐々に経済活動も戻ってきており、少し落ち着いたなら、訪問して、昔の仲間達と杯を交わすのをとても楽しみにしています。

タイ人の気質はご存じの通り、明るく、何事もひきずらない（マイペンライ）性格。何かと引きずる日本人としては、私も含めて是非、見習いたいものです。微笑みを絶やさず、マイペンライの精神で、微力ながら中経連のお役に立てるように今後も努力してまいります。